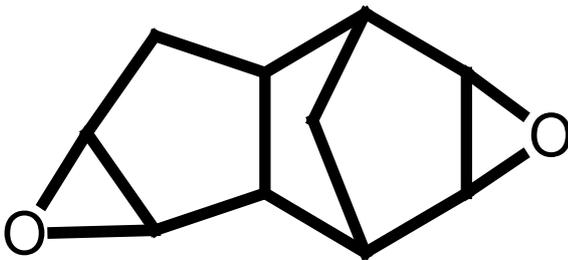


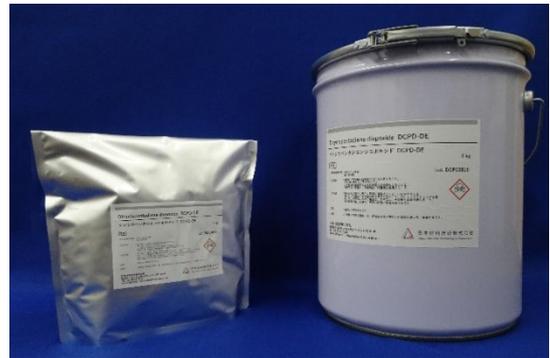
2024年1月25日
日本材料技研株式会社

脂環式エポキシ DCPD-DE のスケールアップについて

日本材料技研株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 浦田 興優、以下「当社」）は、このたび、脂環式エポキシ DCPD-DE（ジシクロペンタジエンジエポキシド）に関し、パイロットスケールでの製造に成功いたしました。弊社では2020年6月からDCPD-DEのサンプル販売を行ってまいりましたが、これまでに電子材料用途を中心に多くの引き合いをいただいております。供給態勢の構築にも取り組んでまいりました。今般のスケールアップにより、年1トン超の需要にも受注生産で対応しうる供給体制を整え、キロ単位での量産試作サンプル販売を開始することといたしました。



DCPD-DE の化学構造式



DCPD-DE スケールアップ品 [左]1kg [右]5kg

DCPD-DE は、透明性や耐熱性を特徴とする脂環式構造を有する白色の粉末材料です。脂環式エポキシの中でも誘電率が低く、比較的高い Tg を特徴としており、エポキシ組成物に配合することで、Tg を損なうことなく、電気特性を向上させることができます。これらの特性を活かして、電子材料の接着剤や封止材への活用が期待されます。

当社は、独占実施権を有する触媒と知的財産を保有するエポキシ化技術を応用して工業化製法の開発に取り組み、シンプルでスケールアップ容易な生産技術をパイロット規模で確立しました。これにより高い反応選択率を実現し、高純度（99.5%以上）で塩素を含まない（検出下限以下）DCPD-DE を量産することが可能になっています。（製品紹介ウェブサイトおよび製品パンフレット：[DCPD-DE](#)）

また、この技術は DCPD のみならず、脂環式構造を持つテトラヒドロインデン等、多様な材料のエポキシ化への適用が期待されます。昨年10月には関連する知財も取得するなど取り組み態勢を整えており、今後、高機能エポキシ化合物への個別ニーズにもお応えして参ります。（関連プレスリリース：[日本材料技研、エポキシ化合物製造技術に関する知的財産権の譲渡契約を締結](#)）

DCPD-DE および本技術を用いたエポキシ化に関するお問い合わせは、
当社ホームページ(<https://www.jmtc.co.jp/>) のお問い合わせフォームよりご連絡ください。

以上